

校訓	真善美	令和7年度 学校だより	発行日	令和7年6月12日
教育目標	自ら考え、協働し、共に未来を 創造する生徒の育成 認め合い、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 6月 水無月 第5号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

【6月の過ごし方】

6月上旬は季節を表す二十四節気では、^{にじゅうしせつき}「芒種」という時期です。^{ぼうしゅ}
「芒」の訓読みは「のぎ」、漢字の禾編^{のぎへん}と同じ意味で、米や麦などの穂先にある細い毛の部分の指します。「芒種」の時期は、穀物の種をまく頃とされますが、この頃は暑さが日一日と増し、湿度も高く、梅雨前線が北上する時期となります。今週は、近畿地方も梅雨入りし、季節もひとつ進んだ実感がありますね。



さて、毎朝、校門に立って挨拶をしていると、皆さんは元気よく「おはようございます！」と挨拶を返してくれます。また、自ら進んで挨拶をしてくれる生徒も多く、1日の始まりに、生徒の皆さんからたくさんの元気をもらっています。

ある雨の朝、ふと気づいたことがありました。それは、雨の降る中、傘を差して登校する生徒に「おはようございます」と声をかけると、傘をスッと上げ、こちらに視線を移し、会釈して挨拶を返してくれる生徒が多くいるということです。何気ない1コマですが、雨の中、急ぎ足で過ぎ去ってもよいところを、挨拶の声や気持ちに応え、自然と反応できる荒中生の素直さや心の温かさに気づき、幸せな気持ちになりました。目をあわせる、一礼する、そんなほんの少しの気配りで、相手とのよい関係を築くことができるんだなあ、と改めて感じた瞬間でした。

6月は、授業中心の落ち着いた生活が続きます。部活も試合前、学期のまとめとして提出物も多くあるなど、実は忙しい毎日です。また、クラスにも慣れ、仲間とも親くなる反面、他人に対して遠慮がなくなり、不用意な発言から人間関係のトラブルも増えてくる時期でもあります。雨で湿度や気温が高く、イライラしてしまう日もあるかもしれません。そんな時、自分の発言や行動から、自身の気づかないところで、相手に嫌な思いをさせてしまった経験がある人も多いのではないのでしょうか。忙しい中ですが、そんな時だからこそ、友達に対する発言や態度など、ちゃんと気配りができているか、今一度見つめ直してみてもどうでしょうか。相手を思う、少しの思いやりが、より良い人間関係が築くことになると思います。また、今週から教育相談が始まっています。もし、悩みや困ったことがあれば、学年の先生に相談して一緒に考え、解決して欲しいと思います。

《林間学舎 奮闘記》

1年生は、5月28日から神鍋高原において1泊2日の林間学舎を行い、仲間との絆を深めてきました。入学してから初めての大きな行事ということで、生徒・教師ともに大きな期待を胸に臨みました。天気予報では雨が心配された初日でしたが、真夏を連想させるような晴天に恵まれました。1日目はバスで神鍋高原に移動し、ご家庭で準備いただいたお弁当を食べたあと、班ごとにオリエンテーリングに出発しました。地図を片手に7つのポイントを巡り、それぞれの課題をクリアしてホテルを目指すというものです。途中、噴火口では班ごとにベストショットを撮ったり、風穴では、天然のクーラー（年間を通して8℃）を体感したり、自分たちでとった魚をその場で焼いて食べたりと大自然を満喫しました。「ただいま！」ゴール地点に戻ってきた生徒は、日に焼け、一段と成長したように感じました。全ての班が予定時刻よりも前に無事にゴールにたどり着くことができました。ホテルへの入館式を終え、それぞれ自分の部屋に入りました。館内は清掃が行き届き、快適に過ごすことができる空間でした。1日目の夕食は、みんな楽しみにしていた焼き肉です。山盛りの霜降り牛に、お箸が止まりません。ホテルの方も感心される程、たくさんご飯のおかわりをしました。笑顔で食べる皆さんの姿に、先生方も自然と笑顔がこぼれました。夕食の後は、キャンプファイヤーです。火の神から5つの火をもらい点火、この日のためにクラスで協力し練習に励んだスタンツのお披露目です。みんなもノリノリで、大盛り上がりでした。司会をしてくれた人、スタンツを考えてくれた人、頑張っってダンスを覚えた人、大きな声で「燃えろよ燃えろ」を歌った人・・・みんなで作り上げた素晴らしいキャンプファイヤーになりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、入浴、クラス反省会、就寝です。消灯時間は22時25分、ぐっすり眠りました。

2日目は6時30分に起床し、身支度、朝のつどい、朝食後は、待ちに待ったイチゴ狩りです。昨年度は豪雨の影響によりできませんでした。今年は祈りが通じたのか、真っ赤で大きなイチゴがゴロゴロと実り、最高のイチゴ狩りになりました。20分間で40粒以上食べた人もいました。その後、飯盒炊飯です。班で協力してカレーを作りました。火をおこす人、野菜を切る人、米を研ぐ人、それぞれ役割を持って取り組みました。野菜をみじん切りにしたり水分量を調節したりと、同じ食材からオリジナリティに富んだカレーライスが完成しました。力を合わせて作ったカレーは格別の味でした。後片付け、飯盒の焦げがなかなかとれずに苦労しましたが、粘り強く磨き続けホテルの方からお褒めの言葉をいただきました。

1泊2日間、寝食をともにしたことで、お互いを深く知ることができたと思います。これから始まる3年間、皆さんの成長に期待しています。（文責：教頭）